

熱海土木 工事事故防止

ニュースレター

工事事故「0」を目指して

令和6年8月に発生した(主)伊東修善寺線での飛び石事故の紹介です。飛び石事故は、工事関係者の事故の中でも、多く発生しており、注意が必要です。

今後も工事事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いします。

除草作業中に飛び石が防護柵基礎に跳ね返って車両の窓に直撃！！

【令和6年8月5日 工事事故発生】



事故概要

飛散防止用ネットを設置し肩掛け式の草刈り機を使用して除草作業を行っていた。飛散防止ネットの横脇から石が飛散し、通行車両(右ハンドル)の運転席右側の窓ガラスが破損した。

事故原因

原因①

飛び石は飛散防止用ネットの横からと思われ、正確な位置は特定できないが、**飛散防止用ネットの幅や包囲が足りず**、横や斜めに飛散する石への対応が不十分であった。

原因②

飛び石に対する**危険認識が不足**していた。

| 熱海土木 工事事故 発生件数 | 事故 分類 | 工事関係 者(傷害) | 第三者 (傷害) | 第三者 (物損) | 工事事故 合計 | 令和6年 9月末 現在 |
|----------------------|----------|---------------|-------------|-------------|------------|-------------------|
| | 件数 | 3件 | 0件 | 1件 | 4件 | |

再発防止策

再発防止策①

飛散防止用ネットをコの字型の形状にするとともに、下側からの飛散にそなえ、**下側にもネットを設置**し飛散防止を図る。

再発防止策②

除草作業は作業者と飛散防止用ネット設置者が合図や声を掛け合い、速度を合せて飛散防止用ネットの位置を確認しながら出来るだけ近づいて作業を行う。



再発防止策③

作業開始前のKY活動では現場状況の把握、リスク確認を作業員全員で行い、当日の作業内容、各自の作業分担、注意点等を周知する。

再発防止策④

今回の事故事例について、社内で周知を図り、再発防止を徹底する。

再発防止策⑤

除草作業前に、あらかじめ飛散しそうな空き缶等の障害物をできる限り除去する。

再発防止策⑥

跳ね返りが懸念される場合は、上下で逆回転するアタッチメントを取り付けた**回転バリカン式草刈り機**を使用する。